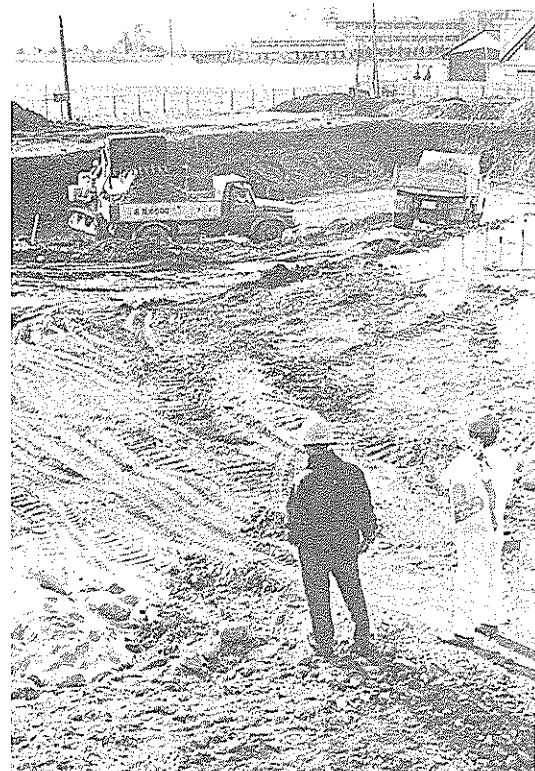


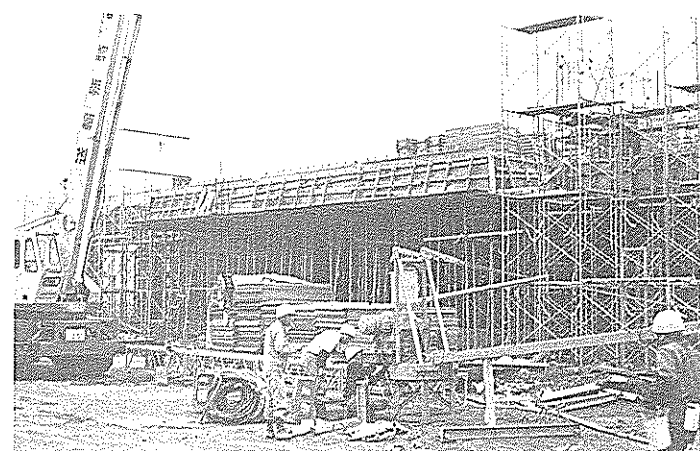
■こんなにしてできた庁舎



46年11月8日、起工式が行なわれ、いよいよ工事ははじまる



ブルドーザーの音も心よく、地階基礎部分の根切り(床廻り)

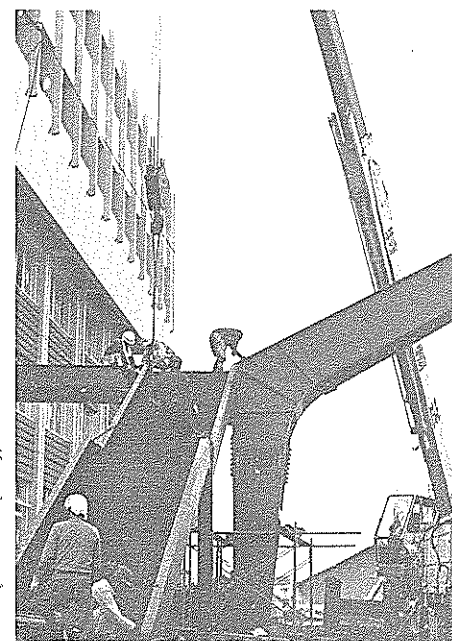


1階正面の玄関部分で、型ワクの立組み

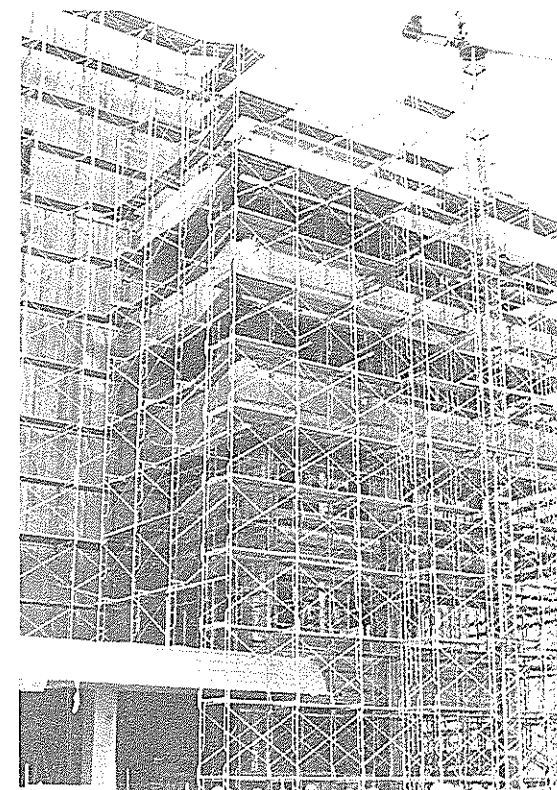


地上から屋上まで、ポンプ車でコンクリートが運ばれ、コンクリート打ちをする。

46年6月8日、庁舎建設委員会は、旧庁舎南側を建設地に選定。面積5,485平方メートル(5反5畝9歩)を9,571万円で購入する。



庁舎2階から旧庁舎跡の駐車場まで、電車軌道の上6.7メートル(下部)を飛びこえ、幅1.5メートル長さ36メートルのオーバークリッジ(陸橋)がつく



地下1階、地上5階の堂々とした庁舎が出現。コンクリート打ちを終る。



吉野川の自然石は、金堂市長の自筆で「南河内市庁」と刻まれる